

【行財政機構及び行政監察に関する調査会】

(1) 活動概観

本調査会は、第133回国会召集日の平成7年8月4日に設置され、3年間にわたる調査テーマを「時代の変化に対応した行政の監査の在り方」として、国民の多様なニーズへの的確な対応を目指した立法府と行政府との新たな関係を模索すべく鋭意調査を進めてきた。その結果、本院にオンブズマン的機能を備えた行政監視のための第2種常任委員会を設置するという調査会長案を3年を待たずにとりまとめ、平成9年6月9日議長にその報告書を提出、併せてその立法化を要請した。

最終年度に当たる3年目の調査については「時代の変化に対応した行政の監査の在り方」というテーマに沿って調査課題を検討した結果、政策等の評価制度について調査を行うこととしている。

なお、行政監察の実態認識を深めるために、平成9年11月6日に、横浜、川崎両市に視察を行った。

(2) 調査会経過

○平成9年11月6日（木）（第1回）

- 理事の辞任を許可し、補欠選任を行った。

○平成9年12月12日（金）（第2回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 行財政機構及び行政監察に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については会長に一任することに決定した。